

警城時報

編輯 堀田 謙一
印刷 堀田 謙一
發行 堀田 謙一
社址 石城郡平町
電話 〇二五

神谷村長に對し 不信任案の決議

村政が紊亂してゐるといふのが 長壽男氏排斥の理由

神谷村長長壽男氏は大正十四年度に於て前期特別税戸割賦課に際し刑罰問題を引き起して以來一部村民は同村長排斥運動を起すに至つたが今回村有志は左の如き村長強硬の決議をなし排斥の猛運動を起す事になった。

神谷村長長壽男氏は就任以來失政百出悉く紊亂破壊し今や全く村治を收拾し能はざるに至り自ら省み速かに引責を自決すべし。

一、大正十四年前期特別税戸割賦課に際し刑罰問題を引き起したが村長は部下を擁護せしめて一書記を免じ一村會議員を罰し自ら其責任を回避した。

二、大正十五年度戸數割賦課に當り法規に觸れた賦課をなし退職せしめたり。

三、小學校基本財産、救荒豫備費千六百圓は児童の勞力の結晶であるが之を勝手に鹽城銀行に預金して目下の處引出し不能に陥らしめたり。

四、収入役須藤源太郎欠席を奇貨とし其後徴收したる村税二千三百圓を勝手に鹽城銀行に預け同行が休業するに至つた。

石城稻作状況

二百十日現在

農事試験場石城分場では(二十日)九月一日調査の夏作々況は大暑以降曇天若くは雨天勝りして日照時間甚だ少く從つて氣温も低下し草丈分蘗共に不良にして出穂期は一般に遅れ目下八高値五十五圓、安値四十一圓、分通りの出穂せざる状態にして買馴五十一圓八十錢である。

平町の公園にする

城山の丹胡澤を

平町に於ては丹胡澤を昔をしのぶ唯一の古跡として同所を公園にして公園にするものである。

平町舊城跡の丹胡澤は平町に於て池の中に橋をかけ對岸の山に櫻を植えて公園とするものである。國に對し拂下げ方を申請中であるが早晩平町有となるものがある。平町に於ては丹胡澤を昔をしのぶ唯一の古跡として同所を公園にしやうとの計劃をたて、既に附近地主である新田善次郎、松崎松治外數氏に交渉する處があつたが、大體の計劃を聞くに

その成績悪く今後の天候順調となることも昨柄は平年に比し不良を免れず收穫は例年の十六萬石に比し約三萬石位の豫想で分蘗草丈前四ヶ年の平均に比し今年平均は草丈三尺三寸三分、莖數一二・四で莖數に於て〇・五本草丈は二・九寸の各畝であつた。

平町舊城跡の丹胡澤は平町に於て池の中に橋をかけ對岸の山に櫻を植えて公園とするものである。國に對し拂下げ方を申請中であるが早晩平町有となるものがある。平町に於ては丹胡澤を昔をしのぶ唯一の古跡として同所を公園にしやうとの計劃をたて、既に附近地主である新田善次郎、松崎松治外數氏に交渉する處があつたが、大體の計劃を聞くに

平町舊城跡の丹胡澤は平町に於て池の中に橋をかけ對岸の山に櫻を植えて公園とするものである。國に對し拂下げ方を申請中であるが早晩平町有となるものがある。平町に於ては丹胡澤を昔をしのぶ唯一の古跡として同所を公園にしやうとの計劃をたて、既に附近地主である新田善次郎、松崎松治外數氏に交渉する處があつたが、大體の計劃を聞くに

平町舊城跡の丹胡澤は平町に於て池の中に橋をかけ對岸の山に櫻を植えて公園とするものである。國に對し拂下げ方を申請中であるが早晩平町有となるものがある。平町に於ては丹胡澤を昔をしのぶ唯一の古跡として同所を公園にしやうとの計劃をたて、既に附近地主である新田善次郎、松崎松治外數氏に交渉する處があつたが、大體の計劃を聞くに

て来たが更に縣補助を得て修築せんとしてゐる石城郡豊間漁港もこれに負てゐる。今回漁港修築期成同盟會を組織し猛運動を開始することになり三日野崎縣議を先頭に同盟會長鈴木倉之助、副會長遠藤徳三郎、志賀豊間世の不振から失業者の群所である旅費は毎日相當多額に於ては右五十圓の経費支出に困難を感じ今日までに支出承認をして来た處は僅かに數ヶ町村に過ぎず準備に取りかゝりたる今日野崎會は勿論試験場でも弱り出してゐる。

人事相談所をだしにして 旅費を稼ぎ廻る者

近來メツキ増加 不景氣の反映

同副會長遠藤徳三郎、志賀豊間世の不振から失業者の群所である旅費は毎日相當多額に於ては右五十圓の経費支出に困難を感じ今日までに支出承認をして来た處は僅かに數ヶ町村に過ぎず準備に取りかゝりたる今日野崎會は勿論試験場でも弱り出してゐる。

石城各驛に於ける 貨物集散減少

財界不況のため 平稅務署で調査

平稅務署では同署管内各驛の上半年における貨物集電散狀況調査中であつたが去る三十日終了したその結果發送に於ての總噸數は八百八十八千六百九十四噸で前期に比し二割八分の増加を示して居る、到着における總噸數は三十九萬九千三百二十四噸一割一分の増加に過ぎず然もこの増加は主に平驛の増加で他の各驛は何れも六割乃至五分の各減少を見て居る、この減少の原因は要するに最近の不景氣に依るもので現在の狀態から見て下半年は更に減少を豫想されて居る。なほ各驛の貨物集散狀況如左。

出縣陳情

漁港修築につき
本縣沿海の漁港修築運動は度々報告の如く先づ四倉、原釜が南北に分れて陳情争ひとなり注目され

平の流燈會

盛況を極む
平町の舊盆流燈會は毎年舊二十日に鎌田町青年等の奔走によつて行はれ本年も昨日鎌田橋附近に於て盛大に行はれた、會衆無慮一萬を算し附近は觀客で非常な雑踏を呈した。

園藝品評會

經費捻出に
園藝品評會は鎌田町の舊盆流燈會に併せては既報の如くであるが、之が經費捻出に關し石城郡農會では過般役員會の結果八百圓を支出する事になつたが同時に郡内各町村農會からは五十圓宛均等に支出せしむる事を決議しその旨町村農會に

通知するところあつたが、はからずも町村農會中央財政逼迫しつゝある處或は貧弱な村農會等に於ては右五十圓の経費支出に困難を感じ今日までに支出承認をして来た處は僅かに數ヶ町村に過ぎず準備に取りかゝりたる今日野崎會は勿論試験場でも弱り出してゐる。

名物といた

伏見町長の腹案

平町の舊盆流燈會は別項の如く今日では平町年中行事の一つに數へらるゝに至り、當日は見物人で非常な雑踏を呈するに至つた。

驚いた!!!

平・加納活版所の印刷物

たが、現在では流す燈籠は鎌田青年等が奔走してゐるため他の地方に於て見るやうな美觀を呈するに至らないが、伏見町長は此の点を遺憾とし平町の流燈會を更に盛大にして名物の一つとし地方の繁榮をはからうと心掛けてゐるから近き將來に於て何等かの方法が講せられ他に劣らぬ流燈會となるであらうと思はれる、伏見町長の腹案を聞くに平町の流燈會は鎌田町の奔走にのみ委せず平町の新盆の家流すやうにすれば之を盛大にする事は極めて容易な事であるならば廣く地方人も見物に来り盛んになる事は明らかである。云々

四倉市場取引

川俣驛	三、四六
植田驛	三、七〇〇
計	三、一六〇

平の流燈會

川俣驛	三、四六
植田驛	三、七〇〇
計	三、一六〇

園藝品評會

川俣驛	三、四六
植田驛	三、七〇〇
計	三、一六〇

在郷軍人 武術大會

入賞者
在郷軍人石城聯合會主催の郡下町村分會對抗の武術大會は二日午前十時から平町警城中學校の演武場で舉行、銃劍術は四倉分會が優勝、軍刀術は個人競技として最後の榮冠は平町分會歩兵少尉藤井一氏が獲得し午後五時閉會、戦績は左の如し。
◎軍刀術 ▲一等分會藤井一 ▲二等高久分會葉谷久太郎 ▲三等渡邊分會高木善枝
◎銃劍術 ▲一等四倉分會 ▲二等好間古河炭礦分會 ▲三等豊間村分會

鳥御料理 うなぎ焼 蒲魚

平町南町平館隣り
電話四二四番

ハガキ集

▲投票歡迎
▲昨夜鎌田の燈籠流しを見に行つた通り、うで蟹を買つて来たたら腐つてゐて食べられませんでした。雑踏の際の飲食物販賣に對し平署の嚴重な取締りを望みます。(白銀町)
▲午後三時頃平町一丁目カンエー一タビエのライスカレーを注文しました。肉が腐つたやうな悪臭がして食べず。堂々たる店を張つてゐる洋食屋として平町の面目に關する事と思ひます。この点も其筋の御干渉を望みます。(右同人)
▲毎夜七時から九時までの間平町の郡役所附近で密會してゐる男女の學生がある。名前はちやんと判つてゐるんだ。少しは人前を憚れ(ケビエ生)

セメント 壁用材料

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話 三番

油と味噌 味噌合

山崎合名會社
平町三丁目
電話 三〇九番

外科 專門

花柳病科

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話 三〇九番

外科 新設

内臓外科 一般外科

平町新川町
木村外科醫院
院長 木村寅次郎
電話 一六四番

耳鼻咽喉科 專門

平町仲田町七
新築 場所 合津醫院
電話 五五九番

大衆向の實用腕時計

拾八金制拾型付 拾壹支エトウ
拾八金制拾型付 拾壹支エトウ
拾八金制拾型付 拾壹支エトウ
拾八金制拾型付 拾壹支エトウ

開業披露

洋食部開業

各位の御獎勵により、原料は特に精選味やぶとばと同様多少に不拘御用命を乞ふ
食堂完備...配達迅速
二十二日開業
平町新田町(電話一四二番)
やぶ洋食部

阿部石炭商店

平町前
電話 三三七

外科 專門 X光線科

平町南町
上田外科醫院
電話 一二九番

藤沼醫院

内科 小兒科 入院應需
平町細屋町
電話 平五〇七番

汽車即座脂油

殺菌防臭の効絶大なり
代理店 關内藥局
平町四丁目(電話四〇番)

靴とカバン

福山に限る
平町後場前 福山支店